

薬師堂を中心  
に広がる山村集落五木村平野地区  
〔町並みの分類／農村〕

集落の玄関口に建てられた堂宇(薬師堂)

## 町並みについて

- ◆同地区は五木村の北部に位置し、特有の深いV字谷地形の山肌に開けた台地に、五木村の33の旧家のひとつ(黒木家)を中心とした集落が展開しています。
- ◆集落の玄関口に建てられた堂宇(薬師堂)を中心とした家並みが、古くからの特色のある山村景観を残しています。また、山の清らかな谷水を村落内に引いた共同水場が人々の暮らしを今も支えています。



平野地区全景

## 町並みの中心(核)となる伝統的建造物

 平野薬師堂

- ◆建築年代は不明ながら、傍らには取り囲むように豊かな緑陰をつくりだす銀杏の木がそびえ立ち、江戸時代には村の集会所的な利用がなされていました。現在でも同地区の中心であり、憩の場として活用されています。
- ◆薬師堂の前には、江戸相撲の名力士で同地出身の熊ヶ嶽猪之助(くまがたけいのすけ)の墓が佇んでいます。



薬師堂の脇には、枝張りが四方に広がる三本の大銀杏が立っており、山村集落の歴史を感じさせてくれます。また、堂宇の仏像や老樹の年輪などが、当時の人々の暮らしを伝えています。